

令和7年度

試験名:編入学試験

【社会・国際学群社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
経済学主専攻 専門科目 問題 A	出題意図 問 1 部分均衡モデルを用いた計算問題によって、入門レベルのミクロ経済学における専門用語を正しく理解しているかを確認する。 問2 多人数から成る同時手番ゲームのナッシュ均衡点やその性質を問うことで、入門レベルのゲーム理論を論理的に正しく理解しているかを確認する。 問3 債権利回りの計算方法を問うことで、入門レベルのマクロ経済学の知識を正確に理解しているかを確認する。 問4 IS 曲線の性質を問うことで、入門レベルのマクロ経済学を論理的に理解しているかを確認する。

令和 7 年度

試験名:編入学試験

【社会・国際学群 社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
経済学主専攻 専門科目 問題 B	出題意図 土地基本法改正についての問題文を読んでもらい、日本経済についての知識や社会科学視点に基づき議論を展開する能力について確認することが目的である。 問 1. 1980 年代中頃の円高不況、金融緩和による不動産価格・株価の上昇、レジャー施設や商業施設の開発の拡大、地上げ等の社会的問題の発生、金利引き上げと不動産価格の低下、不良債権の増加などの当時の出来事の一連の流れを字数内で指摘できているかどうかを評価した。 問 2. 全国的な人口減少、地方における過疎化、相続により土地所有者が都会と地方に分散したことなどを字数内で指摘できているかどうかを評価した。 問 3. 自由論述のため、特に解答例は無し。 問 4. 自由論述のため、特に解答例は無し。

令和 7 年度

試験名:編入学試験

【社会・国際学群 社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
経済学主専攻 外国語	出題意図 2024 年度のノーベル経済学賞を受賞した経済学者の一人であるダロン・アセモグル (Daron Acemoglu) の論文の抜粋を読んでもらうことにより、英文読解能力、日本語運用能力及び経済学の理解を確認することを目的とする。 問 1 下線部が本文中のどの部分と対応しているのかを理解できているのかを確認するための出題である。 問 2 生産関数についての理解を確認するための出題である。 問 3 下線部についての説明がなされている部分を読み取ることができているかどうかを確認するための出題である。 問 4 アセモグルの主張を支える方法論を説明している部分を理解できているのかどうかを確認するための出題である。 問 5 下線部についての説明が具体的になされている部分を、どの程度読み取ることができているかを確認するための出題である。 問 6 下線部についての説明が具体的になされている部分を、どの程度読み取ることができているかを確認するための出題である。